

基準地価下落幅が拡大

コロナ影響で10年ぶり

県は29日、7月1日現在の基準地価を公表した。住宅地、商業地ともに下落が続いているが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、リーマン・ショックの影響があった2010年以来いずれも10年ぶりに下落幅が拡大した。

基準地価は不動産鑑定士の評価をもとに住宅地や商業地などの評価額を定めたもので、不動産取引の目安となっている。今回調査した19市町395地点（うち選定替え3地点）の平均変動率は、住宅地が前年比マイナス0・7

％、商業地が同マイナス0・9％で27年連続の下落となった。下落幅はそれぞれ前年より、0・1ポイント拡大した。

明感が生じ、土地需要が下がったことが要因とみられる。昨年までは景気回復の影響で、住宅地、商業地ともに下落幅の縮小傾向が続いていた。

市町別にみると、商業地では防府市が唯一、平均変動率が0・2％となりプラスだった。1994年以来26年ぶりで、県政策企画課によると、JR防府駅周辺でマンションの開発が進み、商環境の向上が見込まれることが要因という。

県内の1平方メートルあたりの平均価格は、住宅地が2万5600円で全国33位、商業地が4万4700円で全国41位だった。県庁所在地の山口市の平均価格は住宅地2万6700円、商業地5万7100円とともに全国46位だった。

表の変動率は小数点第2位を四捨五入した。

（山崎毅朗）

住宅地の価格上位

順位	所在地	価格(円/㎡)
1	下関市秋根本町1-2-23	7万7100円
2	和木町和木3-4-28	7万3300円
3	下松市中央町7-21	7万1千円
4	岩国市南岩国町1-24-65	6万9700円
5	岩国市立石町3-8-26-2	6万8700円

商業地の価格上位

順位	所在地	価格(円/㎡)
1	岩国市麻里布町2-9-24	15万1千円
2	下関市南部町23-5	11万5千円
3	山口市中央1-2-1	9万5600円
4	周南市岐山通2-21	9万3700円
5	山口市小郡下郷渡り上巻1255-5	8万8800円

住宅地の下落率上位（▼はマイナス）

順位	所在地	変動率(%)
1	岩国市錦町広瀬下桜木265	▼4.0
2	上関町長島下小路4488-3	▼3.8
3	岩国市錦町中ノ瀬森ノ輪手197	▼3.8
4	美祢市美東町赤罾市407-1	▼3.6
5	美祢市秋芳町秋吉瀬戸4885-4	▼3.4

商業地の下落率上位

順位	所在地	変動率(%)
1	上関町室津本町806-2	▼3.8
2	岩国市錦町広瀬小正下6712	▼3.8
3	阿武町奈古岡田橋2859-1	▼3.8
4	美祢市秋芳町秋吉生森5370-1	▼3.6
5	下関市豊田町殿敷長正寺1913-5	▼3.2